

ジャン・コクトー Jean Cocteau

※詩人、小説家、劇作家、画家、役者、映画監督、その多彩な活動から〈芸術のデパート〉と呼ばれたジャン・コクトーは1889年7月5日、パリの裕福な家庭に末っ子として生まれる。8歳の時、アマチュアの画家でもあった父が謎のピストル自殺。20歳ごろから社交界、裏社交界に入り出するようになり、雑誌や新聞に寄稿、詩人として頭角を現し、マルセル・ブルーストやモディリアーニ、ココ・シャネル、ストラヴィンスキーと様々な業界のアーティストたちと交流を深めていく。アンドレ・ブルトンらシュルレアリストたちとの対立、長編処女小説『肉体の悪魔』によって時代の寵児となるレーモン・ラディゲとの出会いとラディゲの死、阿片中毒と解毒治療……病と死が深く陰影を落とし、生活や精神の均衡が崩れるときも彼は頑なに表現活動を続けた。映画の処女作は『詩人の血』(1932)。1937年にはその後、長年にわたって公私のパートナーとなる俳優ジャン・マレーと出会い、『美女と野獣』(1946)、『恐るべき親達』(1948)、『オルフェ』(1950)といった傑作を手がける。

小説の代表作は『大跨度びらき』(1923)、『白書』(1928)、『恐るべき子供たち』(1929・ジャン＝ピエール・メルヴィル監督によって1950年に映画化)、戯曲では『オディプス王』(1937)、『双頭の鷲』(1946)など。日本では堀川大學に訳され、三島由紀夫、堀辰雄、寺山修司、濑澤龍彦ら多くの作家に色濃く影響を与えた。1963年10月11日、友人エディット・ピアフの死去を耳にして容態が急変、永眠する。ジャン・マレーは1999年に85歳で亡くなるまで、コクトー作品を舞台で演じ続けたという。

ジャン・コクトーという不滅の星——小説に、演劇に、映画に、あらゆるジャンルの垣根を飛び越え、聖なる愛や生、死を、そして真実以上の〈真実〉を描き出したコクトー。その作品の数々は永遠に新しく、天体のようにきらめいて、我々に微笑み続けることだろう。



20世紀最高の芸術家による珠玉の傑作が、美しい映像でスクリーンに甦る

3月10日[金]—3月17日[金]

●各回入替制

3月10日[金]	14:30-美女と野獣	16:30-詩人の血	17:45-ブローニュの森の貴婦人たち	20:30-オルフェ
3月11日[土]	14:00-ブローニュの森の貴婦人たち	16:00-美女と野獣	18:00-詩人の血	19:30-オルフェ
3月12日[日]	14:00-詩人の血	15:30-オルフェ	17:30-美女と野獣+★トークイベント	
3月13日[月]	14:00-オルフェ	16:00-美女と野獣	18:00-詩人の血	20:00-ブローニュの森の貴婦人たち
3月14日[火]	14:00-美女と野獣	16:00-ブローニュの森の貴婦人たち	18:00-オルフェ	20:00-詩人の血
3月15日[水]	14:30-詩人の血	16:00-オルフェ	18:00-美女と野獣	20:00-ブローニュの森の貴婦人たち
3月16日[木]	14:00-ブローニュの森の貴婦人たち	16:00-美女と野獣	18:00-詩人の血	20:00-オルフェ
3月17日[金]	14:30-オルフェ	16:30-詩人の血	18:00-ブローニュの森の貴婦人たち	20:30-美女と野獣

【トークイベント】

3月12日[日] 17:30 — 『美女と野獣』上映後にドミニク・バイーニさんのオンライン解説トーク50分程度を予定しております。

※予定が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

ドミニク・バイーニ Dominique PAÏNI ——1990年から2000年まで、シネマテーク・フランセーズの館長を務め、その後、2000年から2005年までパリのボンビドー・センターの文化発展部のディレクターに就任し、「ヒッチコックとアート」(2001年)、「ジャン・コクトー、20世紀の潮流の中で」(2004年)、「迷宮アントナン・アルトー」(2005年)、「ジャン＝リュック・ゴダール展」(2006年)など数々の展覧会をコミッショナーとして手掛ける。2003年9月にリヨンに開設されたリュミエール兄弟美術館の構想を担当。最近では2021年9月28日から2022年1月16日までパリのオルセー美術館で開催された「ようやく映画! 1833～1907までのフランスにおける芸術、映像、スペクタクル」展のキュレーションを担当し、大好評を得る。主な著作は『映画、近代のアート』、『展示された時間』(共にカイエ・デュ・シネマ社)。2023年3月10日からパリのモンマルトル美術館で開催される「女性形のシュルレアリスム?」展のコミッショナーも務めている。

【チケット】一般1,300円/アンダー30割:1,000円 ※上映開始15分前開場、整理番号順にご入場頂けます。※劇場内ではフタつき飲料以外の飲食はお断りしております。

東京日仏学院

Institut français Tokyo

東京都新宿区市谷船河原町15 〒162-8415

www.institutfrancais.jp/tokyo/

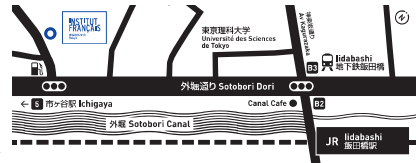
最寄り駅からのアクセス

▶JR総武線 飯田橋駅西1より徒歩7分

▶地下鉄(有楽町線・南北線・東西線)飯田橋駅

B3出口より徒歩7分

▶都営地下鉄(大江戸線)牛込神楽坂駅A2出口より徒歩7分



【お問合せ】 マーメイドフィルム TEL: 03-3239-9401

没後60年

ジャン・コクトー 映画祭

Le Sang d'un Poète

詩人の血

4Kデジタルリマスター版

Les Dames du Bois de Boulogne

ブローニュの森の貴婦人たち

デジタルリマスター版

La Belle et la Bête

美女と野獣

4Kデジタルリマスター版

Orphée

オルフェ

デジタルリマスター版

jcff.jp

© 1950 SND (Groupe M6)



3.10 [日] 17 [日]
東京日仏学院にて上映